

第1日目：平成21年3月12日（木）

会場：立教大学池袋キャンパス



独立行政法人

主催：海洋研究開発機構 共催：立教大学

共通開催（B会場7102教室にて開催、A会場には同時中継）

■海洋研究推進委員会委員長挨拶（09:20-09:30）

■特別講演 B会場：7102教室（17:10-18:00）

「真核生命誕生のしくみを解明し温暖化・砂漠化など気候変動に挑戦—極限生物のゲノム・マス科学で—」

○黒岩 常祥（立教大学特任教授 立教大学極限生命情報研究センター長）

■理事長挨拶（18:00-18:10）

■懇談会 会場：立教大学食堂（18:30～）【ポスター表彰含む】

■口頭発表

A会場：7101教室

S1：生物地球化学（09:30-10:50）

座長：本多 牧生（海洋研究開発機構）

BE09-01（09:30-09:50）

北西部北太平洋においてアンモニア濃度の増加がもたらす生物生産の変動について

○松本 和彦（海洋研究開発機構）他

BE09-02（09:50-10:10）

西部北極海における海水-海洋循環とそのクロロフィル分布への影響

○溝端 浩平（東京海洋大学）他

BE09-03（10:10-10:30）

夏季の北太平洋亜寒帯域および縁辺海表面水における懸濁粒子中の生物起源・地殻起源元素の挙動

○岩本 洋子（東京大学）他

BE09-04（10:30-10:50）

2007年夏季北部北太平洋の大気と海水DMS分布と大気DMSの酸化条件

○永尾 一平（名古屋大学）他

S2：南海トラフ・房総（10:55-11:55）

座長：小林 励司（鹿児島大学）

BE09-05（10:55-11:15）

相模トラフ沿い巨大地震の断層モデル

○小林 励司（鹿児島大学）

BE09-06（11:15-11:35）

「かわいい」MCSによる房総沖フィリピン海プレート沈み込みイメージ

○三浦 誠一（海洋研究開発機構）他

BE09-07（11:35-11:55）

屈折法探査データを用いた地震波減衰構造のマッピング

- 東南海における探査データへの適用 -

○藤江 剛（海洋研究開発機構）他

昼休み（12:00-13:00）

ポスターセッション 会場：7202.7203教室（13:00-14:30）

S3：伊豆・小笠原・マリアナ I（14:30-15:30）

座長：小平 秀一（海洋研究開発機構）

BE09-08（14:30-14:50）

大陸棚調査により得られた新しい知見とIODP島弧地殻深部掘削計画

○小平 秀一（海洋研究開発機構）他

BE09-09（14:50-15:10）

屈折法地震探査データからみた伊豆・小笠原島火山フロント下地殻

- マントル遷移層の特徴

○佐藤 壮（海洋研究開発機構）他

BE09-10（15:10-15:30）

P波構造とS波構造からわかる北部伊豆小笠原島弧のリフティングと地殻進化

○高橋 成実（海洋研究開発機構）他

休憩（15:30-15:40）

S4：前弧・背弧（15:40-17:00）

座長：松本 良（東京大学）

BE09-11（15:40-16:00）

上越沖、海鷹海脚のガスハイドレート・システム

○松本 良（東京大学）他

BE09-12（16:00-16:20）

上越沖メタンハイドレート胚胎域におけるポックマークとマウンドの地形的特徴

○弘松 峰男（千葉大学）他

BE09-13（16:20-16:40）

日本海東縁、海鷹海脚ガスハイドレート分布域のシングルチャンネルサイスマック解釈

○Antonio Fernando Menezes Freire（東京大学）他

BE09-14（16:40-17:00）

海底目視観察から明らかになった石垣島東方沖海底活断層の発達・伝播

○松本 剛（琉球大学）他

休憩（17:00-17:10）

B会場：7102教室

S5：鯨骨生態系（09:30-11:10）

座長：藤原 義弘（海洋研究開発機構）

BE09-15（09:30-09:50）

鯨骨生態系における多様性、共生および進化-鯨骨生態系2003-2008-

○藤原 義弘（海洋研究開発機構）他

BE09-16（09:50-10:10）

鯨骨生態系2003-2008 -鯨骨生物群集の遷移と深海底における役割-

○山本 智子（鹿児島大学）他

BE09-17（10:10-10:30）

鯨骨生態系2003-2008～鯨骨環境が育む多様な共生システム～

○河戸 勝（海洋研究開発機構）他

BE09-18（10:30-10:50）

海底に沈んだ鯨骨の直下に発達する化学環境の推移とそれに依存した生物の地球化学的特徴：野間岬沖鯨骨生態系2003-2008

○山中 寿朗（岡山大学）他

BE09-19（10:50-11:10）

鯨骨生態系2003-2008：鯨骨環境における脊索動物ゲイコツナメクジウオの成長と生物学的特徴

○丹藤 由希子（東京大学）他

S6：化学合成生態系（11:15-11:55）

座長：窪川 かおる（東京大学）

BE09-20（11:15-11:35）

シチヨウシンカイヒバリガイの形態および行動特性

- 深海性二枚貝類と比較して -

○伊藤 希（石巻専修大学）他

BE09-21（11:35-11:55）

ツブナリシャジクはヘイトウシンカイヒバリガイを頼る

○藤倉 克則（海洋研究開発機構）

昼休み（12:00-13:00）

ポスターセッション 会場：7202.7203教室（13:00-14:30）

S7：深海生物生態（14:30-15:30）

座長：渡部 裕美（海洋研究開発機構）

BE09-22（14:30-14:50）

北マリアナ熱水噴出域に生息する腹足類オガサワラマンジの環境適応戦略

○中野 祐（東京大学）他

BE09-23（14:50-15:10）

端脚目クラゲノミ垂目の群集構造に影響する環境要因の検討

○森 美由貴（横浜市立大学）他

BE09-24（15:10-15:30）

JAMSTECの深海探査システムが撮影した頭足類

○窪寺 恒己（国立科学博物館）他

休憩（15:30-15:40）

S8：深海生物繁殖・生理（15:40-17:00）

座長：神保 充（北里大学）

BE09-25（15:40-16:00）

飼育によって得られた熱水噴出域周辺生物の幼生

○三宅 裕志（北里大学）他

BE09-26（16:00-16:20）

マヌス海盆熱水噴出域に生息する腹足類ヨモツヘグイニナの成長と繁殖生態

○渡部 裕美（海洋研究開発機構）他

BE09-27（16:20-16:40）

深海性ピクニン類の光受容器官-網膜と松果体の組織学的研究-

○溝端 桃英（奈良女子大学）他

BE09-28（16:40-17:00）

硫化物への暴露によるヘイトウシンカイヒバリガイタウリントランス

ポーター遺伝子の発現誘導

○小糸 智子（東京大学）他

休憩（17:00-17:10）

BE09-P01. 「ランティナーチャーズ・スクール2008夏」船上実習
○鈴木 晋一(海洋研究開発機構)他

BE09-P02. アウトリーチ活動の一環としての海洋調査船航海
—相模湾におけるKO-0H0-0航海の成果—
○萱場 うい子(海洋研究開発機構)他

BE09-P03. 海洋調査船を用いたアウトリーチ活動—第10回全国児童
「ハガキにかこう海洋の夢絵画コンテスト」体験乗船—
○萱場 うい子(海洋研究開発機構)他

BE09-P04. ABISMOがマリアナ海溝で採取した深海底コアの堆積学的特徴
○飯島 耕一(海洋研究開発機構)他

BE09-P05. 中部マリアナトラフ背弧拡大軸の「しんかい6500」潜航調査
○富士原 敏也(海洋研究開発機構)他

BE09-P06. 2007年新潟県中越沖地震震源域における反射法地震探査
○野 徹雄(海洋研究開発機構)他

BE09-P07. 日本海東縁、上越沖メタンハイドレート胚胎域および
北海道南西沖の熱流量分布—これまでの計測結果概要—
○町山 栄章(海洋研究開発機構)他

BE09-P08. 日本海東縁 上越沖における海底堆積物・海水に溶存する
メタン濃度とその炭素同位体組成
○土永 和博(東京大学)他

BE09-P09. 北海道西方沖メタン湧出域における地球化学的分析
○鈴木 麻希(東京大学)他

BE09-P10. 日本海上越沖における計量魚群探知機を利用した
メタンハイドレートの実験と観察
○青山 千春(独立総合研究所)他

BE09-P11. 後志トラフ西縁における微地形、浅部構造調査について
—YK08-07航海DAI-PACKマッピング—
○上嶋 正人(産業技術総合研究所)他

BE09-P12. 上越沖メタン活動域における微地形、浅部構造調査について(その2)
—NT0809航海DAI-PACKマッピング—
○上嶋 正人(産業技術総合研究所)他

BE09-P13. 伊豆島弧IODPサイト近傍の反射法地震探査記録
○瀧澤 薫(海洋研究開発機構)他

BE09-P14. IODP関東アスペリティプロジェクト(KAP)の事前調査(KY07-14)
報告:相模湾・房総沖におけるピストンコアから得られた情報
○村岡 諭(筑波大学)他

BE09-P15. 潮岬海底谷に露出する分岐断層帯近傍における付加体断面構造
○小川 勇二郎(筑波大学)他

BE09-P16. r2D4および「かいこう7KII」による渥美半島沖遠州断層系の
潜航調査
○荒井 晃作(産業技術総合研究所)他

BE09-P17. 南海トラフ付加体で発生する低周波地震の震源像の
解明に向けたOBS自然地震観測
○尾鼻 浩一郎(海洋研究開発機構)他

BE09-P18. 始良カルデラの熱構造
○藤野 恵子(九州大学)他

BE09-P19. 鹿児島湾若草火口熱水域における堆積物中の熱水変質反応
○三好 陽子(九州大学)他

BE09-P20. 鹿児島湾若草火口底における熱水活動域の分布と熱水性沈殿物
の特徴(速報)
○山中 寿朗(岡山大学)他

BE09-P21. 分岐断層活動検出へ向けた海底間音響測距装置の安定した
潜航設置—NT08-19航海(熊野灘外縁部)の概要—
○木戸 元之(東北大学)他

BE09-P22. 熊野沖付加プリズム・前弧海盆の冷湧水観測と表層地質観察
○芦 寿一郎(東京大学)他

BE09-P23. 泥質岩中に発達する暗色帯—南海付加体(YK05-08, YK08-E04)と
房総半島南部の比較—
○道口 陽子(筑波大学)他

BE09-P24. チャレンジャー海淵への挑戦 — 失敗の巻
○山内 徳保(日本海洋事業)他

BE09-P25. チャレンジャー海淵への挑戦 — 成功の巻
○村島 崇(海洋研究開発機構)他

BE09-P26. 沖縄トラフ掘削プロポーザルの掘削事前調査(KY08-01 Leg2速報)
○山本 富士夫(海洋研究開発機構)他

BE09-P27. プチスポット火山周辺における高密度熱流量測定
○濱元 栄起(東京大学)他

BE09-P28. 熱流量高密度観測から推定された伊平屋北熱水域の熱水循環構造
○正木 裕香(高知大学)他

BE09-P29. BBOBSデータから推定されたプチスポット下アセノスフェアの物性
○志藤 あずさ(海洋研究開発機構)他

BE09-P30. NT08-13航海報告:「青い熱水」の現場再現実験
○土岐 知弘(琉球大学)他

BE09-P31. 受託研究「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究」
に向けた海底地震計319台運用への取り組み
○菅野 真人(日本海洋事業)他

BE09-P32. 大深度用小型トランスポンダ・リリーサの開発
○澤 隆雄(海洋研究開発機構)他

BE09-P33. 低消費電力型水中LEDライトの開発
○横引 貴史(海洋研究開発機構)他

BE09-P34. 鯨骨付着二枚貝の形態特性および成長
○伊藤 希(石巻専修大学)他

BE09-P35. シチヨウシンカイヒバリガイの形態および行動特性
—深海性二枚貝類と比較して—
○伊藤 希(石巻専修大学)他

BE09-P36. 熱水噴出孔を設置した水槽内におけるゴエモンシオリエビと
ユノハナガニの定位場所選択
○北嶋 円(新江ノ島水族館)他

BE09-P37. 明神海丘の生物地理
○根本 卓(新江ノ島水族館)他

BE09-P38. 相模湾初島沖に生息するシロウリガイ貝殻の結晶学的微細構造
○林 明子(明治大学)他

BE09-P39. シンカイヒバリガイ類に共生する硫黄酸化細菌の蛍光 in situ
hybridizationによる視覚化及び定量
○藤ノ木 優(東京大学)他

BE09-P40. NT08-07 Leg2 明神海丘航海概要:熱水噴出域における生物の
環境適応機構および生物固有性の解明に向けて
○井上 広滋(東京大学)他

BE09-P41. ナギナタシロウリガイと共生イオウ酸化型細菌の産生脂質から
閉じられた食物連鎖系が証明された
○齋藤 洋昭(中央水産研究所)

BE09-P42. シンカイヒバリガイ類を中心とした熱水・冷湧水域固有生物の生態に
関する研究—NT06-23成果報告—
○小俣 珠乃(海洋研究開発機構)他

BE09-P43. 硫化物への暴露によるヘイトウシンカイヒバリガイタウリン
トランスポーター遺伝子の発現誘導
○小糸 智子(東京大学)他

BE09-P44. 富山湾におけるオオグチボヤコロニーからみる深層海流
○川本 詩織(富山大学)他

BE09-P45. 鯨骨生態系2003-2008 野間岬沖鯨骨周辺で発見されたコトクラゲ
より得られた受精卵の発生について
○足立 文(新江ノ島水族館)他

BE09-P46. 鯨骨生態系2003-2008:野間岬沖の鯨骨調査航海の概要
○窪川 かおる(東京大学)他

BE09-P47. 鯨骨生態系2003-2008 チオ硫酸を用いた鯨骨産ヒラノマクラの飼育に
関する研究
○永堀 淳志(日本大学)他

BE09-P48. 鯨骨生態系2003-2008 鯨骨産ヒラノマクラの成長・成熟・繁殖に
関する研究
○木下 吟(広島大学)他

BE09-P49. 鯨骨生態系2003-2008 サツマハオリムシの棲管伸長速度と伸長行動
の解析
○篠崎 鮎太(北里大学)他

BE09-P50. 鯨骨生態系2003-2008—鯨骨生物群集における微生物多様性と変遷—
○宮崎 征行(海洋研究開発機構)他

BE09-P51. 鯨骨生態系2003-2008
○Pradillon Florence(海洋研究開発機構)他

BE09-P52. 浅海での鯨骨生物群集の遷移
○大越 健嗣(石巻専修大学)他

BE09-P53. 外洋棲ウミアメンボ4種の2大洋分布および環境応答性に果たす海象・
気象動態の役割について
○原田 哲夫(高知大学)他

BE09-P54. 琉球大学21世紀COEプログラムにおける深海生物プロジェクト
○竹村 明洋(琉球大学)他

BE09-P55. パルマ藻の重要性
○今野 進(山形大学)他

BE09-P56. Chukchi~Bering海堆積物中のブラックカーボンの起源
○熊田 英峰(東京薬科大学)他

BE09-P57. 北太平洋WHP-P03及びP10ラインにおける過去十数年間の
炭素14濃度の変動
○熊本 雄一郎(海洋研究開発機構)他

BE09-P58. 夏季の北太平洋亜寒帯域および縁辺海表面水における懸濁粒子中の
生物起源・地殻起源元素の挙動
○岩本 洋子(東京大学)他

BE09-P59. Open-Path及びClosed-Path変動計を用いた渦相関法による二酸化炭素の
海面交換量の比較測定
○近藤 文義(岡山大学)他

BE09-P60. プロファイリングフーフトによる生物地球化学観測
○須賀 利雄(海洋研究開発機構/東北大学)他

BE09-P61. 時系列観測点K2における春期ブルーム時の溶存有機炭素の生成
○脇田 昌英(海洋研究開発機構)他

BE09-P62. MR08-05航海概要報告
○本多 牧生(海洋研究開発機構)他

BE09-P63. 時系列観測点K2における初夏のマイクロネクトンの群集構造と役割
○喜多村 稔(海洋研究開発機構)他

BE09-P64. 初夏の北西部北太平洋亜寒帯域における魚類相
○村田 尚史(海洋研究開発機構)他

BE09-P65. 端脚目クラゲノミ亜目の群集構造に影響する環境要因の検討
○森 美由貴(横浜市立大学)他

BE09-P66. 北マリアナ熱水噴出域に生息する腹足類オガサワラマンジの環境適応戦略
○中野 祐(東京大学)他

Blue Earth'09プログラム

第2日目：平成21年3月13日（金）

会場：立教大学池袋キャンパス

■口頭発表

A会場：7101教室

S9：水圏・堆積物圏の微生物生態（09:30-10:30）

座長：布浦 拓郎（海洋研究開発機構）

BE09-29（09:30-09:50）

西部北太平洋155°E線上における窒素固定による新生産
○塩崎 拓平（東京大学）他

BE09-30（09:50-10:10）

北西部北太平洋における微生物群集の生物量と代謝活性の全深度分布に関する研究（IMBER）
○永田 俊（東京大学）他

BE09-31（10:10-10:30）

酸素極小層に位置する海底における二次元酸素濃度プロファイルの時系列測定—YK08-11アラビア海航海における測定結果速報
○小栗 一将（海洋研究開発機構）他

S10：古気候（10:35-11:55）

座長：木元 克典（海洋研究開発機構）

BE09-32（10:35-10:55）

ベーリング海堆積物中の陸源碎屑物のSr, Nd同位体組成：過去100年間のアラスカ・シベリアの環境変動の記録
○浅原 良浩（名古屋大学）他

BE09-33（10:55-11:15）

みらいMR06-04航海、オホーツク海南西部堆積物コア分析による過去3万年間のベンチレーションと生物生産変化
○岡崎 裕典（海洋研究開発機構）他

BE09-34（11:15-11:35）

最終氷期以降の偏西風ジェットの変動とアジア夏季モンスーンとの関係
○長島 佳菜（海洋研究開発機構）他

BE09-35（11:35-11:55）

東シナ海北部における過去2万年間の黒潮と大陸系混合水の勢力変化復元
○福田 美保（筑波大学）他

昼休み（12:00-13:00）

ポスターセッション 会場：2階の7202、7203教室（13:00-14:30）

S11：計測技術とAUV（14:30-15:50）

座長：藤井 輝夫（東京大学）

BE09-36（14:30-14:50）

マイクロ流体デバイスを用いた深海現場複合計測と熱水プルームの4次元マッピング
○藤井 輝夫（東京大学）他

BE09-37（14:50-15:10）

熱水地帯への2種類のAUVの展開
○浦 環（東京大学）他

BW09-38（15:10-15:30）

海底音響基準局の設置—豊橋沖海底ケーブルへの接続—
○望月 将志（東京大学）他

BE09-39（15:30-15:50）

SSBL音響測位とINSの統合によるAUVの測位について
○渡邊 佳孝（海洋研究開発機構）他

休憩（15:50-16:00）

S12：熱帯海洋気象（16:00-17:20）

座長：米山 邦夫（海洋研究開発機構）

BE09-40（16:00-16:20）

北赤道海流・ミンダナオ海流・黒潮システムの観測—MR06-05 Leg3, MR07-07 Leg1航海観測結果より—
○柏野 祐二（海洋研究開発機構）他

BE09-41（16:20-16:40）

トライトンブイによって観測された近年のインド洋ダイポール現象
○堀井 孝憲（海洋研究開発機構）他

BE09-42（16:40-17:00）

西部熱帯太平洋における集中観測期間に発生した台風0806号の初期渦の発達過程
○山田 広幸（海洋研究開発機構）他

BE09-43（17:00-17:20）

みらいMR08-02航海で観測された降水の特徴
○耿 驃（海洋研究開発機構）他

■閉会の挨拶 海洋研究開発機構理事（17:20-17:30）
（ポスター表彰含む）

主催：立教大学



協立所政法人

海洋研究開発機構 共催：立教大学

B会場：7102教室

S13：熱水・ホットスポット（09:30-10:30）

座長：羽生 毅（海洋研究開発機構）

BE09-44（09:30-09:50）

ホットスポット型火山のマグマソースとその時間変化；
フレンチポリネシア海底調査より
○羽生 毅（海洋研究開発機構）他

BE09-45（09:50-10:10）

プチスポットマグマ生成における地球化学的数値シミュレーション
○高橋 亜夕（東京大学）他

BE09-46（10:10-10:30）

沖縄トラフ鳩間海丘における熱水性沈殿物の鉱物化学的研究
○中野 宏樹（九州大学）他

S14：伊豆・小笠原・マリアナII（10:35-11:35）

座長：小平 秀一（海洋研究開発機構）

BE09-47（10:35-10:55）

反射法地震探査から得られた伊豆小笠原弧における活動的背弧リフト域の空間的特徴
○山下 幹也（海洋研究開発機構）他

BE09-48（10:55-11:15）

伊豆・小笠原弧における極初期島弧地殻断面の発見：KR08-07航海
○谷 健一郎（海洋研究開発機構）他

BE09-49（11:15-11:35）

南部マリアナ前弧の組成・構造とテクトニクス
○小原 泰彦（海上保安庁）他

昼休み（12:00-13:00）

ポスターセッション 会場：2階の7202、7203教室（13:00-14:30）

S15：大町海山（14:30-15:30）

座長：植田 勇人（弘前大学）

BE09-50（14:30-14:50）

小笠原弧大町海山蛇紋岩体の岩相分布と地質構造
○植田 勇人（弘前大学）他

BE09-51（14:50-15:10）

伊豆弧中央部大町海山から得られた蛇紋岩角礫岩とそのテクトニックな意義（YK08-05）
○千葉 妙（筑波大学）

BE09-52（15:10-15:30）

大町海山蛇紋岩の源岩（かんらん岩）の起源
○新井田 清信（北海道大学）他

休憩（15:30-15:40）

S16：地震調査観測計測（15:40-17:20）

座長：金田 義行（海洋研究開発機構）

BE09-53（15:40-16:00）

「かいいい」MCS高精度化-（1）今年度の運用実績-
および今後の課題
○樋泉 昌之（日本海洋事業）他

BE09-54（16:00-16:20）

「かいいい」MCS高精度化-（2）取得データの評価-
○三浦 誠一（海洋研究開発機構）他

BE09-55（16:20-16:40）

熊野灘に展開する地震・津波観測監視システムの海域調査について
○松本 浩幸（海洋研究開発機構）他

BE09-56（16:40-17:00）

海底地震津波ネットワークの海底観測装置の海域試験
○荒木 英一郎（海洋研究開発機構）他

BE09-57（17:00-17:20）

リアルタイム観測ネットワーク構築に向けた海中作業機能の向上
○川口 勝義（海洋研究開発機構）他

■閉会の挨拶 海洋研究開発機構理事（17:20-17:30）
（ポスター表彰含む）

■ポスターセッション(会場7202、7203教室:13:00~14:30)

- BE09-P67. 「しんかい6500」による地質面構造の現地計測
○植田 勇人(弘前大学)他
- BE09-P68. ディープ・トウ用曳航支援ソフトの開発
○林 央之(マリンワークジャパン)他
- BE09-P69. 海洋調査船「かいよう」における気象計測と品質評価
○徳長 航(グローバルオーシャンディベロップメント)他
- BE09-P70. 小型海洋表層二酸化炭素測定装置の開発Ⅱ
○中野 善之(海洋研究開発機構)他
- BE09-P71. 反射法地震探査データによる日本海溝陸側斜面内断層の推定:
潜航調査YK08-06に向けた断層解釈と潜航結果
○辻 健(京都大学)他
- BE09-P72. インドネシア・スマトラ島北部沖前弧海盆の地震発生履歴に
関する研究
○荒井 晃作(産業技術総合研究所)他
- BE09-P73. 日本海溝におけるゆっくり地震検出のための海底地震・測地
および湧水観測
○伊藤 喜宏(東北大学)他
- BE09-P74. 五島海底谷の発達史
○大岩根 尚(東京大学)他
- BE09-P75. JAMSTEC コア試料キュレーションの始動
○富山 隆将(海洋研究開発機構)他
- BE09-P76. 日本海溝海側斜面における高熱流量異常の調査
○山野 誠(東京大学)他
- BE09-P77. 北海道南西沖地震震源域における海底地盤変状の経年変化
○竹内 章(富山大学)他
- BE09-P78. プチスポットマグマ生成における地球化学的数値シミュレーション
○高橋 亜夕(東京大学)他
- BE09-P79. 海洋性島弧の蛇紋岩片岩: 引張による深部岩石の上昇?
○植田 勇人(弘前大学)他
- BE09-P80. 伊豆-マリアナ弧南日吉海山における火山噴出物の岩石学的特徴
○塚本 明奈(富士常葉大学)他
- BE09-P81. 潜航調査に基づく明神礁海底カルデラにおける噴火メカニズム
の検討
○嶋野 岳人(富士常葉大学)他
- BE09-P82. 海底掘削孔内に設置した高感度傾斜計によるプレート間滑りの検出
○荒木 英一郎(海洋研究開発機構)他
- BE09-P83. 高精度化された「かいいい」マルチチャンネル反射法地震探査
システムを用いた南海トラフ熊野灘における地殻構造探査
○野 徹雄(海洋研究開発機構)他
- BE09-P84. 屈折法地震探査記録におけるコーダ波減衰の空間変化
-数値シミュレーションおよび伊豆小笠原弧における観測例-
○高橋 努(海洋研究開発機構)他
- BE09-P85. 駿河湾奥部で発見された新期火山活動Ⅱ
○千吉良 怜志(東海大学)他
- BE09-P86. よこすかYK08-05航海で得られたSeaBeam2112データの概要
○三浦 亮(日本海洋事業)他
- BE09-P87. 小笠原弧大町海山のザクロ石緑簾石角閃岩
○白杵 直(台湾中央研究院)他
- BE09-P88. 伊豆-小笠原弧大町海山の蛇紋岩について: YK08-05航海の成果
○平内 健一(広島大学)他
- BE09-P89. 水曜海山熱水地帯における地下微生物群集の経時変化
○中分 路可(東京薬科大学)他
- BE09-P90. NT08-03 “相模湾初島沖チューブワーム-の分布と共生細菌の
幼生への感染に関する研究”航海概要報告
○吉田 尊雄(海洋研究開発機構)他
- BE09-P91. 再加圧における初島沖のシロウリガイの環境応答、NT08-25航海概要
○三輪 哲也(海洋研究開発機構)他
- BE09-P92. 深海性二枚貝、シムカイヒバリガイの血液細胞の形態学的研究
○多米 晃裕(海洋研究開発機構)他
- BE09-P93. シマイシロウリガイの共生機構における宿主発現タンパク質解析
○本郷 悠貴(海洋研究開発機構)他
- BE09-P94. シマイシロウリガイ共生細菌の硝酸還元酵素活性に対する
宿主飼育環境の影響
○池田 恵理子(日本大学)他
- BE09-P95. 深海熱水噴出孔生物におけるN0合成
-熱水化学合成細菌共生系における一酸化窒素の役割-
○神木 隆行(琉球大学)他
- BE09-P96. 深海クラゲ Atolla属が持つ種間特異的ポリペプチドの
化学的性状解析
○川端 建徳(東京海洋大学)他
- BE09-P97. Thermosipho globiformansの多細胞性球体形成に関わる形態変化
○桑原 朋彦(筑波大学)他
- BE09-P98. 沖縄トラフ深海熱水孔からの新規好熱性細菌の分離および
その性状解析
○川市 智史(京都大学)他
- BE09-P99. マリアナ弧北端部の熱水活動域(日光海山)より単離した
新規Epsilon-Proteobacteriaの諸性質
○牧田 寛子(海洋研究開発機構)他

- BE09-P100. 深海底熱水活動域に優占する化学合成微生物の群集遺伝学的解析
○中川 聡(海洋研究開発機構)他
- BE09-P101. マリアナ海溝チャレンジャー海淵における地球化学・微生物学調査
○布浦 拓郎(海洋研究開発機構)他
- BE09-P102. 北極海における古細菌マリンクレンアーキオータに関する生物地球
化学的研究-1. 古細菌群集の水平・鉛直分布-
○佐藤 千恵(筑波大学)他
- BE09-P103. 北極海における古細菌マリンクレンアーキオータに関する生物地球
化学的研究-2. 古細菌細胞膜脂質GDGTsの水平・鉛直分布-
○黒木 由貴子(筑波大学)他
- BE09-P104. 伊豆・小笠原海溝最深部(9,760m)海底堆積物中における
未知真菌群集の調査
○長野 由梨子(海洋研究開発機構)他
- BE09-P105. 小笠原海溝深海底堆積物中微生物相の解析
○菊池 徹(横浜市立大学)他
- BE09-P106. 南部マリアナTOTO海山熱水ブルーム中の硫酸化微生物
○砂村 倫成(東京大学)他
- BE09-P107. 深海熱水域におけるタンパク質の直接採集と酵素解析
○山本 正浩(海洋研究開発機構)他
- BE09-P108. 深海メタン冷湧水域からのBasal fungal lineageの検出と多様性
○長濱 統彦(海洋研究開発機構)他
- BE09-P109. トライトンブイによって観測された近年のインド洋
ダイポール現象
○堀井 孝憲(海洋研究開発機構)他
- BE09-P110. 係留観測に基づくウェーク島深・底層流の流量の評価
○内田 裕(海洋研究開発機構)他
- BE09-P111. 東部アラビア海堆積物中の間隙水に含まれる栄養塩分布
○菅 寿美(海洋研究開発機構)他
- BE09-P112. 嫌気海洋における生物地球化学循環、堆積過程、生物活動:
海洋無酸素事件のモダンアナログ
○北里 洋(海洋研究開発機構)他
- BE09-P113. 相模湾海底の堆積物-水境界における親生物元素の時空間分布、
その変動とメイオベントスの活動について
○小栗 一将(海洋研究開発機構)他
- BE09-P114. 西部北太平洋155°E線上における窒素固定による新生産
○塩崎 拓平(東京大学)他
- BE09-P115. アラビア海酸素極小層の底生有孔虫類による有機物消費過程
○野牧 秀隆(海洋研究開発機構)他
- BE09-P116. アラビア海に発達する酸素極小層海底における細菌群集の構造
と機能
○井上 健太郎(東京大学)他
- BE09-P117. 黒潮続流域における海面係留ブイおよび船舶による
海面フラックス観測
○富田 裕之(海洋研究開発機構)他
- BE09-P118. Argo計画の現状
○平野 瑞恵(海洋研究開発機構)他
- BE09-P119. みらいMR0804 国際極年・北極観測 航海概要
○伊藤 素代(海洋研究開発機構)他
- BE09-P120. みらいMR08-02観測航海時の西部熱帯太平洋大気場の特徴
○米山 邦夫(海洋研究開発機構)他
- BE09-P121. WOCE P14再観測航海(MR07-06)で得られたCFCsの分布
○佐々木 建一(海洋研究開発機構)他
- BE09-P122. 栄養塩フラックスと円石藻分布の関係: 南東ベアリング
海域における水塊変化に伴うフラクションと混合割合
○張 勁(富山大学)他
- BE09-P123. 東シナ海北部における過去2万年間の黒潮と大陸系混合水の
勢力変化復元
○福田 美保(筑波大学)他
- BE09-P124. 北太平洋WOCE-P01・P03ラインにおけるメタン生成と酸化
○今井 翔(酪農学園大学)他
- BE09-P125. MR06-04航海で得られたオホーツク海のピストンコア試料の安定
酸素同位体比層序と試料前処理法の確立
○木元 克典(海洋研究開発機構)他
- BE09-P126. KY08-E03 小笠原沖航海のXCPによる流速微細構造観測
○勝又 勝郎(海洋研究開発機構)他
- BE09-P127. 全球の底層水温上昇について
○河野 健(海洋研究開発機構)他
- BE09-P128. パプアニューギニア沖沿岸湧昇とエルニーニョ発生
○長谷川 拓也(海洋研究開発機構)他
- BE09-P129. 「みらい」におけるFMCWミリ波雲レーダ FALCON-Iで見る雲の統計
○山口 潤(千葉大学)他
- BE09-P130. 深海での観測データの直感的な展示手法
○伊藤 彰教(東京工科大学)他
- BE09-P131. 水族館におけるボランティアの展示解説とその効果
○杉田 敦子(新江ノ島水族館)他
- BE09-P132. 深海生物の伝え方~子供ボランティアによる深海生物展示~
○北田 貢(新江ノ島水族館)他

■クローズドミーティングのご案内(メンバーのみの会合)7201教室にて16:00~17:00開催(予定)
「深海生物多様性の保全と持続可能な利用のためのサンプリング方法の検討」